

インドネシア

「グリーン・ウォール」の普及と拡大

現地からのお便り

2015 年 4 月
コンサベーション・インターナショナル

モニタリングと森林再生の経過報告

順調に育っています。ほとんどの木はすでに高くなっていて、さらに成長を続けています。私たちは毎月、300 ヘクタールの森に植えられているすべての木をモニタリングしています。今回は木の種類別にデータを集めて、毎年どれくらい成長しているかの調査を行いました。

センダン科のスリアンやマグノリア科のマングリッドは、1 年間に平均 11cm 以上高くなり、直径は 15cm 以上太くなっています。枯れずに生き延びる力が強いスリアンやマングリッドは、成長が早いことがわかりました。植えている種類の中で一番成長の遅かったフトモモ科のキシレウムも、1 年間に約 5cm 高くなり、直径は約 6cm 太くなりました。



植林地の様子



木の測定をしているところ

組織力の強化

地元の協力者たちの訓練を終え、政府に正式に登録した組合がついに発足しました！名前は「MINA MUKTI DAHLIA」(ミナ・ムクティ・ダリア)です。メンバーたちはすでに生産活動を始めていて、私たちは商品の梱包の方法を指導しています。主な製品は、地元でとれるショウガなどから作る伝統的な薬です。地元政府が開催した見本市にも参加しました。



ミナ・ムクティ・ダリア



組合で生産販売している製品



見本市

メディアキャンペーンとコミュニケーションの増加



地元コミュニティの意識を高めるため、パシル・ブンツ村で映画上映会を開催しました。約 200 人が集い、大盛況となりました。

看板

三箇所に設置された看板を毎月モニタリングしています。どの看板も非常に状態がよく、修理が必要なものはありません。



2015年1月



2015年2月
看板一号



2015年3月



2015年1月



2015年2月
看板二号



2015年3月



2015年1月



2015年2月
看板三号



2015年3月

果樹

プロジェクトで植えたマングリッドとサラムの木が実をつけました。鳥やサル、リスが好んで食べる果実です。



マングリッドの実



サラムの実

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。